

## 地域の皆さんと一緒に野菜づくり 「奥大山大根&カブクラブ」

子ども達が地域の方と一緒に野菜作りをして、交流をしようということで始まった活動です。江府小学校の学校農園を使用しており、今回で取り組み2年目となります。昨年度は「奥大山大根クラブ」でしたが、今年はカブも加わって「奥大山大根&カブクラブ」となりました。

防災無線で児童から地域の皆さんへ参加を呼びかけたところ、それを聞かれた保護者の方や地域の方が一緒に活動してくださいました。9月に種まき、10月に間引き作業を終えて、大根&カブはすくすく育っています。種まきも間引きも、あちこちで「深さはこのくらいですかー？（種まき時）」「何本抜けばいいんですかー？（間引き時）」「えっ、もうやっちゃいましたー」等の声。大人にとっては簡単なことでも、子ども達にとっては初めてだったり難しかったりして、ワイワイとにぎやかな活動となりました。

収穫した大根とカブは給食にも使用されることになっています。大根については12月1日に行われる町民の方向けの給食試食会でも登場予定で、作る子ども達のやる気にますます火をつけています。



▲種まきの様子



▲間引きの時の様子



## 「ながら見守り活動」継続しています

ながら見守りとは、犬の散歩をし「ながら」ウォーキングをし「ながら」農作業をし「ながら」玄關のそうじをし「ながら」、地域の子どもを見守っていかうというものです。

10月11日～22日は今年度第2回目となる強化期間でした。終了後の子ども達へのアンケートでは「あいさつした」「された」との回答が多く、あいさつが身についていることがうかがえます。この活動は強化期間ではない時でも、継続しています。引き続き江府町全体で見守りにご協力ください。



## コミュニティ・スクールってなに？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置し、地域と学校が連携して「地域とともにある学校」づくりを進めている学校のことをいいます。

江府町では、小・中学校合同の1つの協議会とし、9年間の子ども達を町全体で見守り育てていく形としました。令和2年度4月より、江府町でもコミュニティ・スクールがスタートしています。江府町学校運営協議会では、「めざす子ども像」を下のように設定しています。

### 【めざす子ども像】

ふるさとに夢を描き、  
まち・ひと・みらいとつながる江府っ子

- 思いやりと優しさを持ち、  
明るい笑顔で人とかかわれる子
- たくましくしなやかな心と体を持ち、  
のびのびと自己を表現できる子
- ふるさとの自然と文化を愛し、  
ふるさとを大切にする子

# 下蚊屋荒神神楽を中学生が鑑賞

# 江府町学校運営協議会とは？

学校運営協議会とは、主に以下の3つの機能を持っています。江府町の学校運営協議会は、学校、保護者、地域それぞれの代表と、関連団体の代表等で構成されています。

## 学校運営協議会の主な3つの機能

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

現在は、3つの部会に分かれて課題や活動について「熟議」を行っています。小さな町だからこそ、出来る事があります。町民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

## ○学習・行事支援部会

学校の学習・行事を支援します。

## ○健全育成部会

生活習慣・家庭教育向上の取り組みを行います。

## ○地域活性化部会

地域の活性化につながる取り組みを行います。

この活動は、学校運営協議会 地域活性化部会が、郷土芸能である「下蚊屋荒神神楽」を子ども達に知ってもらおうと企画しました。構想はコミュニティ・スクールが始動した令和2年度からあったのですが、新型コロナウイルスの事があり、昨年度は断念。今年度こそ、という思いが実現しました。

下蚊屋荒神神楽保存会の皆さんのご協力により、中学校の文化祭『日輪祭』午後の部で全校生徒が鑑賞するとともに、鑑賞前の1週間には衣装や小道具、お面などを校内に展示しました。間近で見る機会はなかなか無いこともあり、豪華な衣装などを興味深そうに見る生徒の姿もありました。文化祭当日は町民体育館にステージを特設し、約20分間の鑑賞でした。演目は八重垣能という、ヤマタノオロチをスサノオが退治するもの。オロチが2体も登場し、スモークや花火の演出もあって、見ている中学生を驚かせました。1年生は事前学習でオロチの体験もしていたこともあって、「あんなに簡単そうにうごかしてるけど、本当はすごく難しいんだよ」等と話す姿も見られ、ただ鑑賞するだけではない楽しみ方が出来たようです。



中学校文化祭にて

## 「江府町を知ろう」フィールドワーク中学1年

江府中学校1年生が総合学習で『江府町を知ろう』フィールドワークを行いました。学校運営協議会 地域活性化部の協力のもと、下蚊屋荒神神楽保存会、美用レディースの二か所も訪れることになりました。

美用レディースでは、トマトの紹介やケチャップを作ることになった経緯や思いを教わり、ケチャップの食べ比べ用にスパゲッティまで用意していただきました。市販のものとの味の違いに子ども達もうなずいていました。

下蚊屋荒神神楽保存会では、下蚊屋の山口神社社務所を訪れ、練習用のヤマタノオロチをお借りして全員がオロチの体験させてもらいました。めったに出来ない体験に、大騒ぎしながらも楽しそうな様子でした。その後調べ学習、文化祭での鑑賞と続き、しっかりと神楽について学べたようです。

このように、今後も地域活性化部では地域と子ども達をつなぐ機会を作っていきます。



美用レディースの皆さんと



オロチをつけてもらっています

【お問合せ】 江府町教育委員会事務局（役場庁舎2階） ☎75-2223